2025年度実績（「カーボンニュートラル社会の実現に向けた移行計画」環境目標（指標））

移行計画に定める環境目標（指標）の2025年度実績は下表のとおりです。温室効果ガス排出量については2031年度目標を早期に達成したほか、新型航空機比率、グリーンビルディング比率および脱炭素関連資産を対象とするリース契約実行高累計についても2025年度目標を達成しました。
新型航空機比率およびグリーンビルディング比率は、資産の取得・売却に伴い短期的に変動する場合がありますが、中長期的な向上をめざして取り組みを進めています。
また、温室効果ガス排出量については、2031年度目標の早期達成を踏まえ、2050年ネットゼロに向けた新たな中間目標を検討しています。
一方で、運転開始済みの持分出力は2025年度目標を下回りましたが、開発中の案件を含めた持分出力はおおむね計画どおり推移しています。

指標		2031年度目標	2030年度目標	2025年度実績	2025年度目標
環境目標（指標）	当社グループ連結 Scope1およびScope2（マーケット基準）温室効果ガス排出量[1]	3,218t-CO_2e	3,388t-CO_2e	**3,180t-CO_2e**（2019年度比△71.8%）	7,904t-CO_2e
	ポートフォリオの新型航空機比率[2]	83%		**78.9%**	78%
	ポートフォリオのグリーンビルディング比率[3]	66%	64%	**62%**	47%
	脱炭素関連資産を対象とするリース契約実行高累計[4]	1,218億円	1,020億円	**381億円**	230億円
	運転開始済みの持分出力[5]	約2.5GW	約2.3GW	**1.2GW**	約1.4GW

（注）
1. 2031年度・2030年度目標は2028中計策定に伴う見直しを反映した値
2. 現行航空機に比して燃費効率が良く、CO_2排出量の少ない機体。対象機体：A220 / A320NEO / A321NEO / A330NEO / A350 / B737MAX / B787。目標、実績はともに正味帳簿価額ベースで算定（Jackson Square Aviation事業を対象）
3. 不動産事業において当社グループが一定程度コントロール可能な資産（リアルティの投資物件）および当社がスポンサーとなり、当社グループであるアセットマネジメント会社が運用する預かり資産（三菱HCキャピタル不動産投資顧問株式会社の私募REITおよびセンターポイント・ディベロップメントの私募ファンド等）の内、環境認証物件（CASBEE、DBJ Green Building、BELS等）または100%再エネ導入物件のシェア（棟数ベース）
4. 2024年度以降における主として以下を対象とする設備のリース（＝GX Assessment Lease）契約実行高累計
   - グリーンファイナンスの対象となり得るCO_2排出削減効果が期待できる設備
   - エネルギー環境適合製品
   - ESGリース促進事業対象機器
5. 国内の再生可能エネルギー発電事業における出資案件の持分出力

三菱HCキャピタル